

特別展

# 19世紀アメリカインディアンの染織

—バーラントコレクション・ナバホブランケット—

昭和60年4月2日(火)～5月19日(日)

第一会場 (地下1階・主陳列室)

第二会場 (2階・サロンミュゼ・特別陳列室)

渋谷区立松濤美術館



セラペスタイル



ウエッジウィーブスタイル

〔講演会〕(地下2階ホール)

4月20日(土)午後2時～

「アメリカインディアンの染織—ナバホブランケット」

関西大学教授 角山幸洋

5月11日(土)午後2時～

「ナバホインディアンのブランケット—20世紀のスタイルとその技法」

小林桂子

## 解 説

現在、ナバホ族はアメリカ合衆国のニューメキシコ・アリゾナ州にまたがる地域に住んでいますが、彼等の織り成すブランケットは、その色の鮮やかさと独特のデザイン・織りの技術の特色により、高く評価されています。

4・500年程前に、カナダから南下したナバホ族ですが、その織物は、他部族との交流によって得た知識を、独自の感覚で、さらに発展させて作り上げたものです。

1690年、プエブロ族はスペイン人の支配に対し反抗の烽火を上げたものの失敗し、数多くのプエブロインディアンがナバホの領地に逃げ込むことになりました。その結果、プエブロ族の男達によって織られていた染織の技術がナバホ族の女達に伝えられることになりました。長い間木綿を使い織っていたプエブロ族はスペイン人より、原毛を紡いで糸にする技術も習得していましたので、ナバホもこれを受け継ぎ、経糸、緯糸を羊毛で織ることをこの時から始めたのです。

### 主なスタイルと用語



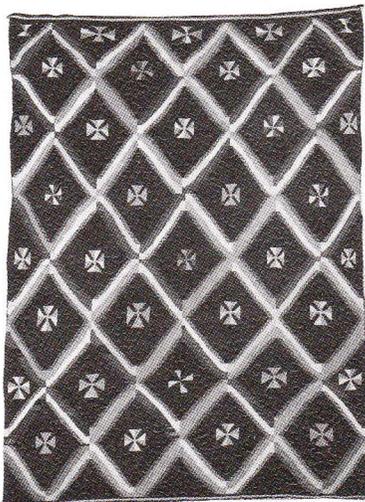
チーフブランケット

#### チーフ ブランケット

“酋長のブランケット”という名称は権威の象徴を意味するのではなく、どの種族の男性も肩からはおったブランケットで、横長のスタイルのものをいう。男性だけではなく女性用もある。

#### (ブランケット)

プエブロ族の織った、体に巻きつけ肩にはおる長方形の1枚の布は、スペイン語のマンタ、または英語でケープなどと呼ぶが、ナバホ族の織る同じ形態の布を、ブランケットと呼んでいる。



セラペスタイル

#### セラペスタイル

プエブロ族の織物とは別に、スペイン系織物から直接影響を受けたスタイルで、バエッタセラペとも呼ばれた。貴重なバエッタを豊富に使った、このたて長のブランケットは珍重され、また高価な交易品で、数多くは織られていない。メキシ

コの織物であるサルティロセラペをナバホ族が手に入れたことはないが、南西部のスペイン植民者やメキシコ人のセラペを目にし、中央の菱形や文様の繰り返しなどを手本とした。



バンドスタイル

## バンドスタイル（带状模様）

ボスケ・レドンドから帰郷し、保留地に落ち着いた後、1870年代初頭から伝統的スタイルを織り続ける努力をするが、新しいデザインも生まれる。そのきっかけとなったのは、ボスケ・レドンドのスタイルで、単純なストライプスタイルにかわって、文様エレメント

を横に並べたバンドスタイル（带状模様）が現われた。

### （ボスケ・レドンドの5年間）

ナバホ族が、合衆国政府に監禁された5年間、原毛が手に入らなくなり、サクソニーやジャーマンタウンの糸を支給された時期。糸紡ぎにかけるエネルギーを織そのものにかたむけ、豊富にそろった色彩で、デザインの可能性が拡がった。



アイダズラー

## アイダズラー（目眩し模様）<sup>めくらま</sup>

1870年代末までに、化学染料が導いた、その名のおり目映いばかりの赤や原色が織りなすスタイル。保留地での新しい出発に、再び自由を取りもどした時期を象徴するかのように、色彩もデザインも新しい試みがなされ、特に細い原色の機械生産の糸ジャーマンタ

ウンの出現がこのスタイルに一役かっている。鋸歯状線や三角形と組合せた菱文様が主体的なモチーフとなって、かさなりあい放射状にひろがり、文様の逆倒置などで織面はエネルギーのぶつかり合う、劇的な視覚的效果を打出している。



ウェッジウィーブスタイル

## ウェッジウィーブスタイル（楔形模様）<sup>くさび</sup>

1875年頃、リオグランデ川流域に住むナバホインディアンによって、緯糸を経糸に対して直角でなく、斜めに織り入れる技法が生み出された。全体をこの技法で織ったものは、緯糸が縞柄で角度をつけて一方向にならぶ段と、その逆方向にならぶ段とが交互に繰り返

し、結果的に縦方向ジグザグの縞模様となる例が多い。

たて ばた  
（ 堅 機 ）

ナバホ族の織機は、支柱をたてて垂直に張った堅機である。この機は、ブランケット1枚ごとに組み立てられる。2本の支柱は、織巾より内側の場合もあり、屋外で織る時、2本の樹木を利用することもある。

## 松濤美術館・平面図

### 【美術相談】

専門知識と経験豊富な美術作家を招き、みなさまの文化活動の援助になればと美術（制作）相談室を開設します。

#### ★相談内容

洋画・日本画を中心にみなさまの制作作品を見て、相談指導をします。また美術史・美術図書などの相談もお受けします。

#### ★相談日・相談美術作家

● 4月28日(日)午後1:00～4:00

洋画家・遠藤原三氏／日本画家・荒井朝吉氏

● 5月19日(日)午後1:00～4:00

洋画家・磯村敏之氏／日本画家・滝沢具幸氏

#### ★申込方法

事前に電話で相談内容を申し込みください。

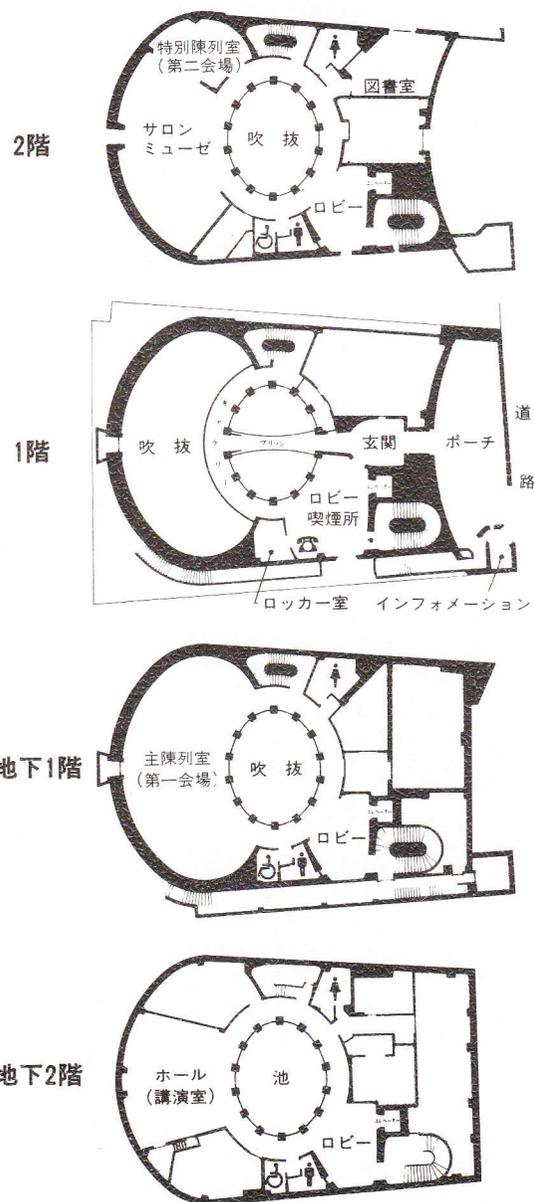
### 【美術映画会】

● 4月21日(日)午後2:00～2:45

「幻の錦」

● 5月5日(日)午後2:00～3:00

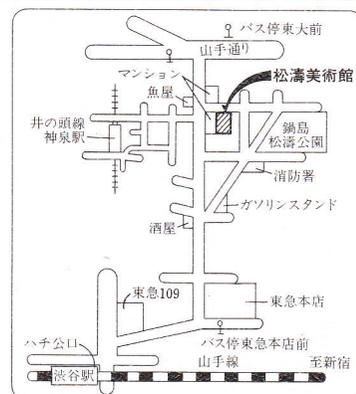
「手漉和紙」 「森口華弘と京友禅」



会 期 昭和60年4月2日(火)～5月19日(日)  
 休 館 日 4月8日(月)14日(日)22日(月)30日(日)  
 5月1日(水)2日(木)7日(火)8日(水)12日(日)

開館時間  
 入館料

	個人	団体(20人以上)
一般	200円	160円
小・中学生	100円	80円



渋谷区立松濤美術館

〒150 東京都渋谷区松濤二丁目14番14号 電話 (03)465-9421